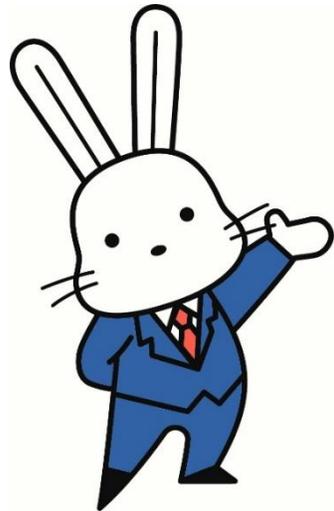


# 新しい福島市総合計画の 策定に向けた 市民アンケート結果のあらまし ～市民が望むまちの姿へ～



平成30年12月  
福島市

# 調査の概要

## (1) 目的

- 新しい総合計画の策定にあたり、本市がこれまで行ってきたまちづくりの取り組みに対する市民の評価およびニーズなどを的確に把握します。
- 本市が今後目指すべき将来の姿やまちづくりの方向性などを検討する基礎資料とします。

## (2) 調査対象

福島市に居住する満15歳以上の男女 3,000名

## (3) 実施方法

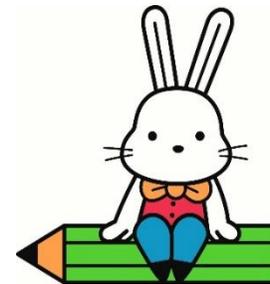
郵送配布・郵送回収

## (4) 調査期間

平成30年7月17日（火）～平成30年8月7日（火）

## (5) 回収率

47.3%（回収数1,420名／標本数3,000名）



# 調査の概要

## (6) 調査項目

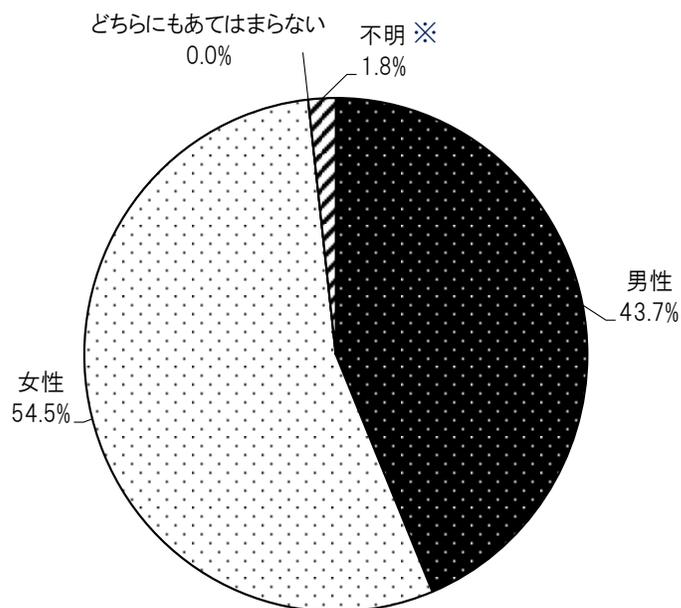
- 回答者の属性  
性別や年齢など、回答者ご自身のことについて伺いました。
- 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」  
現在の総合計画後期基本計画（計画期間：平成28年度から32年度まで）の体系に基づき、本市の取り組みに対する満足度と今後の優先度を伺いました。
- 結婚や子育て  
結婚や子育てに対する考え方について伺いました。
- 暮らしや魅力  
本市での暮らしや魅力について伺いました。
- まちづくり～東日本大震災からの復興や放射線に関する意識～  
～これからの「まちづくり」～  
復興や放射線に関する意識、今後のまちづくりに対する考え方を伺いました。

# 1. 回答者の属性

## (1) 性別・年齢

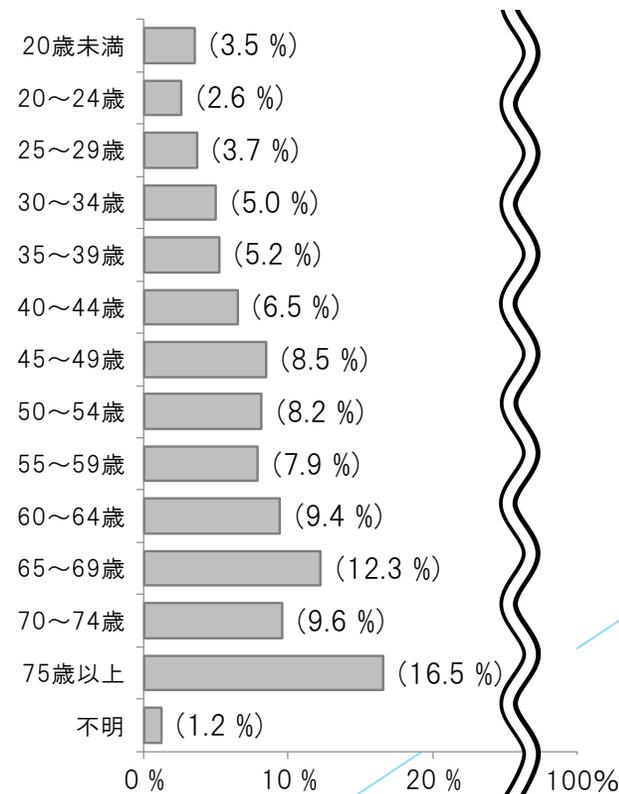
○調査対象者については、居住地区ごとの人口、年齢構成（5歳区分）、性別の割合を考慮して選んだことから、回答者の状況においても次のような傾向がありました。

【性別】



※「不明」とは、お願いした回答を記入していなかった方の割合です。次ページ以降も同様です。

【年齢】



## 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

### (1) 調査方法

本市のまちづくりの取り組みについて、どの程度満足しているか、今後どの程度優先すべきかを尋ねました。

### (2) 分析方法

それぞれの取り組みの満足度と優先度の分析を行うため、回答項目を指数化しました。

### (3) 満足度と優先度の回答項目と指数

指数	5	4	3	2	1
満足度	非常に満足	満足	どちらでもない	不満	非常に不満
優先度	特に優先すべき	優先すべき	どちらでもない	あまり優先しなくてよい	優先しなくてよい

例えば、  
「満足」と回答すると「4」、  
「優先しなくてよい」と回答すると「1」  
となります。

# 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

## (4) 福島市総合計画 後期基本計画に基づくまちづくりの取り組み

章	施策	章	施策
第1章 いのちを大切にすまち	安心できる生活環境の向上（放射線対策）	第5章 「次世代の環境」の 住みよいまち	再生可能エネルギーの推進
	安全な生活の確保		住みよい環境の形成
	生涯健康と保健医療の充実		地球環境への負荷の低減
	地域福祉と障がい者福祉の充実		環境衛生の向上
	人権尊重の推進		情報通信技術の活用
	避難者支援の充実		安定的な水道水の供給
第2章 女性が活躍できるまち	女性の就労支援の充実（子育て支援）	地域における国際化の促進	生涯を通じた学びの推進
	男女共同参画社会の推進		
第3章 こどもと高齢者を 大切にすまち	子育て支援の充実	地域経営の推進	
	学校教育の充実	効率的な行財政運営の推進	
	高齢者施策の充実	近隣自治体との連携の推進	
第4章 活力あふれるまち	農林業の振興		
	工業の振興		
	商業の振興		
	観光の振興		
	雇用機会の創出と勤労者福祉の向上		
	総合交通網の整備		
	中心市街地の活性化		
	交流・定住の促進		
	市民文化の振興		
	スポーツ・レクリエーションの振興		

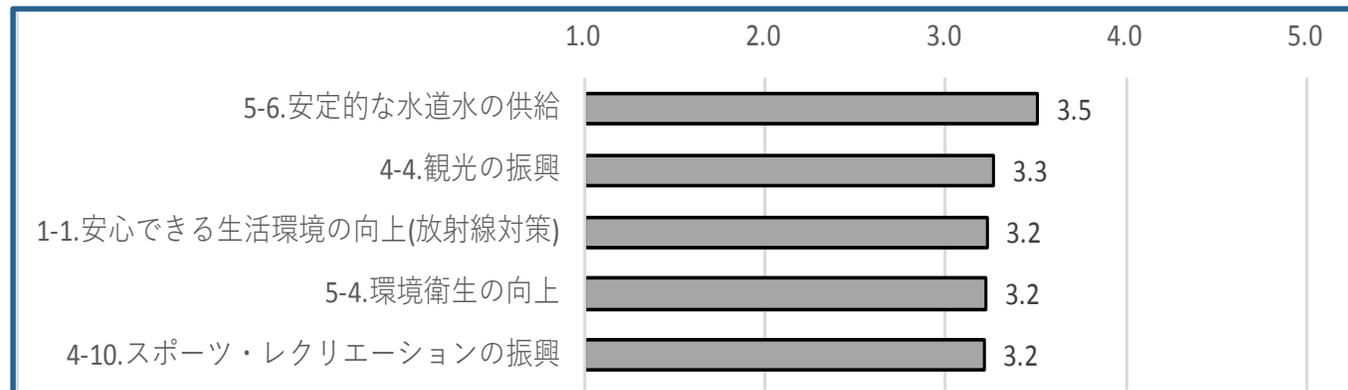


## 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

### (5) 満足度

- 「安定的な水道水の供給」や「観光の振興」、「安心できる生活環境の向上（放射線対策）」などが上位にあり、安全・安心、復旧・復興等の取り組みに対して評価をいただきました。  
一方で、「商業の振興」や「女性の就労支援の充実（子育て支援）」などで満足度が低くなっています。

#### ○上位5位を抜粋



#### ○下位5位を抜粋

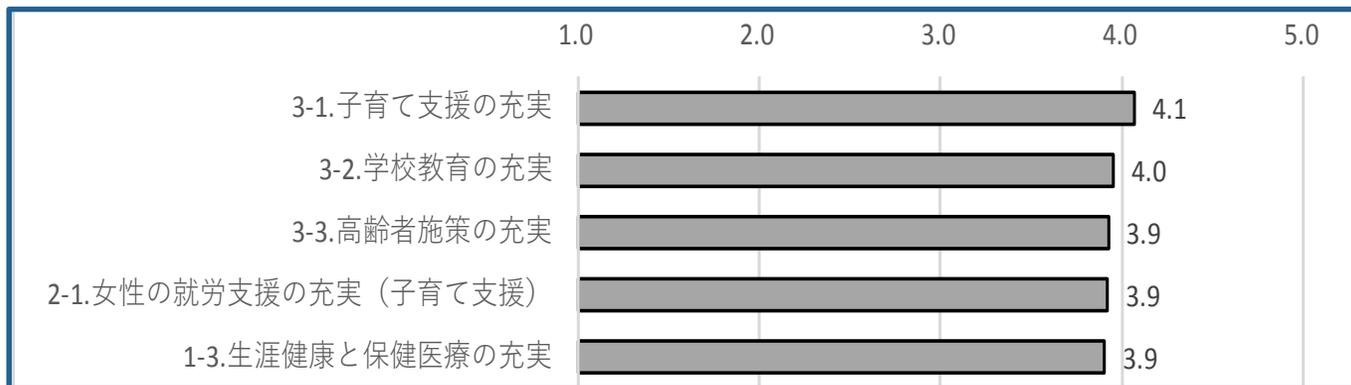


## 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

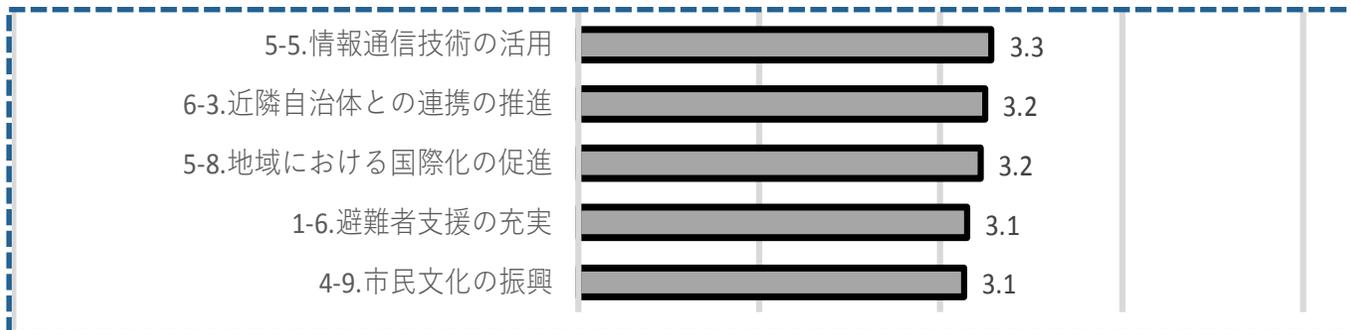
### (6) 優先度

- 「子育て支援の充実」や「学校教育の充実」、「高齢者施策の充実」、「女性の就労支援の充実（子育て支援）」、「生涯健康と保健医療の充実」などが上位にあり、市民生活に密着している取り組みが望まれています。また、「情報通信技術の活用」や「近隣自治体との連携の推進」なども、着実な推進が望まれています。

#### ○上位5位を抜粋

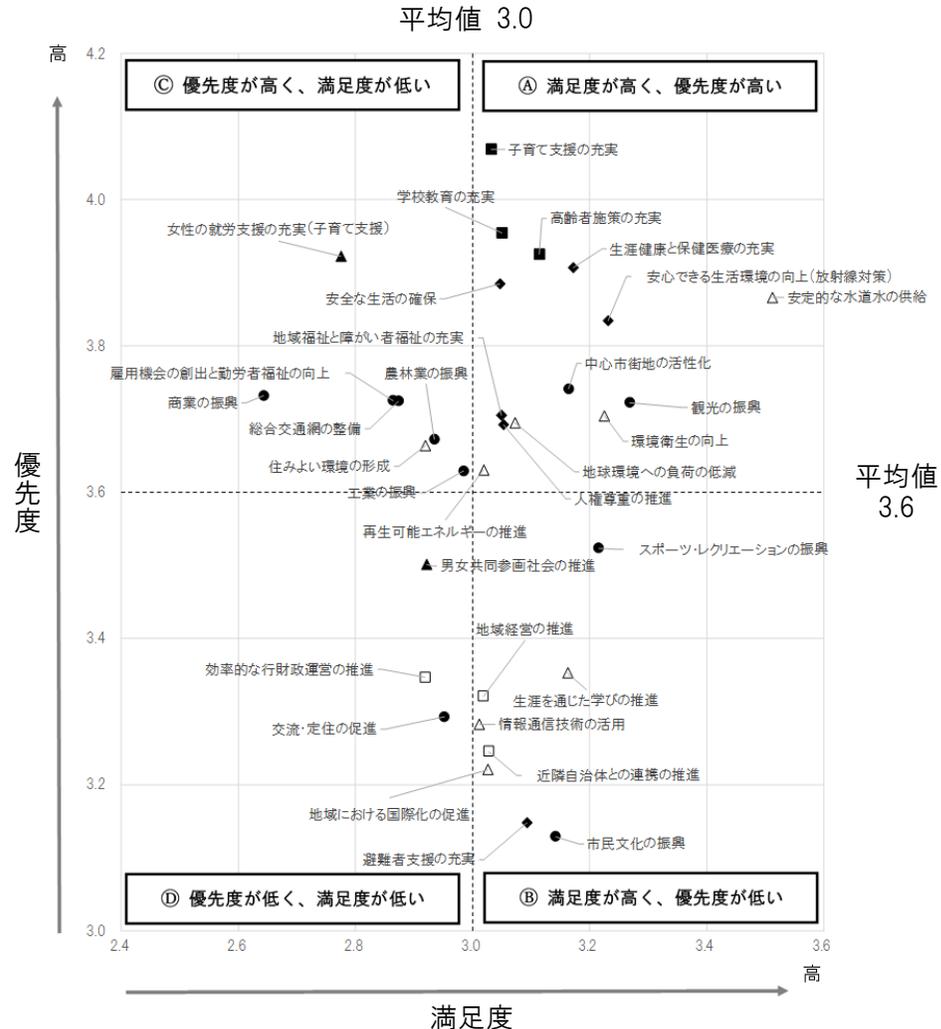


#### ○下位5位を抜粋



# 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

## (7) 相関図 (満足度と優先度の関係)



○ 図中の横軸は満足度、縦軸は優先度をあらわし、共に数値が高いほど満足度や優先度が高いことを示しています。

○ 座標の右側に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど優先度が高い施策であることを示しています。

○ 中心（平均値）から左上に離れるほど、これまでの施策の満足度は相対的に低く、今後、優先的な推進が望まれている傾向となります。

- ◆ 第1章 いのちを大切にするまち
- ▲ 第2章 女性が活躍できるまち
- 第3章 こどもと高齢者を大切にするまち
- 第4章 活力あふれるまち
- △ 第5章 「次世代の環境」の住みよいまち
- 地域経営の推進、効率的な行財政運営、近隣自治体との連携の推進

# 2. 福島市の取り組みに対する「満足度・優先度」

## (8) 総括表（満足度と優先度の順位など）

章	施策（項目）	満足度				優先度			
		指数	順位	前回順位	比較	指数	順位	前回順位	比較
第1章 いのちを大切に するまち	1.安心できる生活環境の向上(放射線対策)	3.2	3位	—	—	3.8	8位	—	—
	2.安全な生活の確保	3.0	16位	7位	▲	3.9	6位	6位	▶
	3.生涯健康と保健医療の充実	3.2	6位	10位	▲	3.9	5位	1位	▲
	4.地域福祉と障がい者福祉の充実	3.0	15位	20位	▲	3.7	14位	13位	▲
	5.人権尊重の推進	3.1	13位	18位	▲	3.7	17位	26位	▲
	6.避難者支援の充実	3.1	11位	—	—	3.1	31位	—	—
第2章 女性が活躍 できるまち	1.女性の就労支援の充実（子育て支援）	2.8	31位	18位	▲	3.9	4位	26位	▲
	2.男女共同参画社会の推進	2.9	26位	18位	▲	3.5	23位	26位	▲
第3章 子どもと 高齢者を 大切にする まち	1.子育て支援の充実	3.0	17位	14位	▲	4.1	1位	3位	▲
	2.学校教育の充実	3.1	14位	11位	▲	4.0	2位	4位	▲
	3.高齢者施策の充実	3.1	10位	15位	▲	3.9	3位	7位	▲
第4章 活力 あふれる まち	1.農林業の振興	2.9	25位	28位	▲	3.7	18位	15位	▲
	2.工業の振興	3.0	23位	27位	▲	3.6	21位	19位	▲
	3.商業の振興	2.6	32位	29位	▲	3.7	10位	16位	▲
	4.観光の振興	3.3	2位	24位	▲	3.7	13位	18位	▲
	5.雇用機会の創出と勤労者福祉の向上	2.9	30位	30位	▶	3.7	11位	2位	▲
	6.総合交通網の整備	2.9	29位	8位	▲	3.7	12位	11位	▲
	7.中心市街地の活性化	3.2	7位	23位	▲	3.7	9位	17位	▲
	8.交流・定住の促進	3.0	24位	17位	▲	3.3	27位	30位	▲
	9.市民文化の振興	3.1	9位	5位	▲	3.1	32位	28位	▲
	10.スポーツ・レクリエーションの振興	3.2	5位	3位	▲	3.5	22位	20位	▲
第5章 「次世代の 環境」の 住みよい まち	1.再生可能エネルギーの推進	3.0	20位	—	—	3.6	20位	—	—
	2.住みよい環境の形成	2.9	27位	6位	▲	3.7	19位	12位	▲
	3.地球環境への負荷の低減	3.1	12位	22位	▲	3.7	16位	8位	▲
	4.環境衛生の向上	3.2	4位	4位	▶	3.7	15位	5位	▲
	5.情報通信技術の活用	3.0	22位	12位	▲	3.3	28位	29位	▲
	6.安定的な水道水の供給	3.5	1位	1位	▶	3.9	7位	9位	▲
	7.生涯を通じた学びの推進	3.2	8位	2位	▲	3.4	24位	21位	▲
	8.地域における国際化の促進	3.0	19位	16位	▲	3.2	30位	25位	▲
地域経営の推進	3.0	21位	—	—	3.3	26位	—	—	
効率的な行財政運営の推進	2.9	28位	—	—	3.3	25位	—	—	
近隣自治体との連携の推進	3.0	18位	—	—	3.2	29位	—	—	

○まちづくりの取り組みごとに、満足度と優先度の指数と順位を示しました。

○なお、「前回順位」については、平成20年度に実施した市民アンケートにおけるまちづくりの取り組みの「満足度・優先度」の順位であり、現在の取り組みと関連付けて比較しています。  
（“—”は前回の市民アンケートには無かった取り組みです）

○満足度では、「観光の振興」や「中心市街地の活性化」が前回と比べて高い順位を示しています。

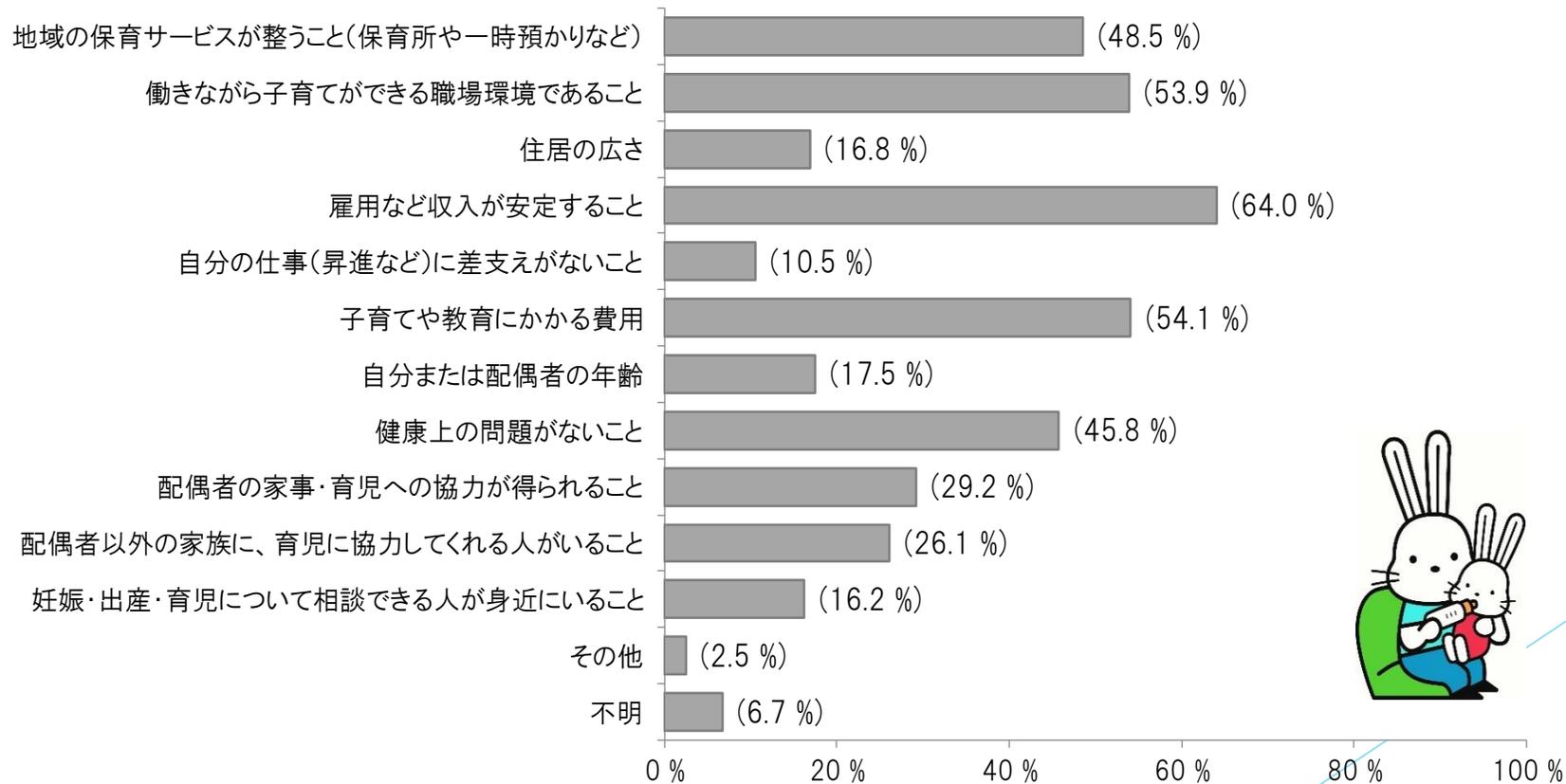
○優先度では、「女性の就労支援の充実（子育て支援）」や「雇用機会の創出と勤労者福祉の向上」が前回と比べて高い順位を示しています。

1位～10位
  11位～20位
  21位～

# 3. 結婚や子育て

## (1) 子どもを持つために重視すること (あてはまるもの5つまで選択可)

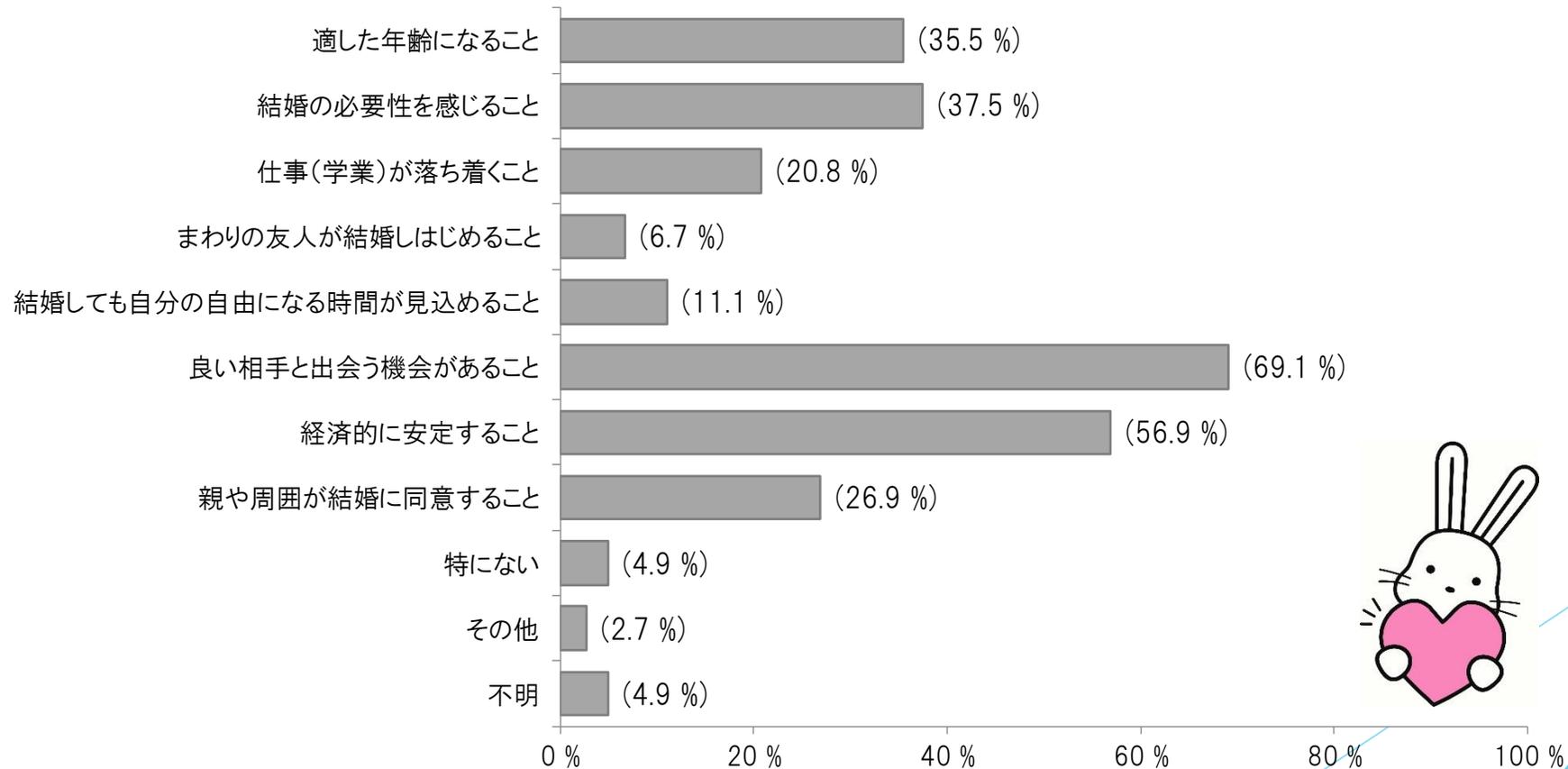
- 「雇用など収入が安定すること」が最も多く、次いで「子育てや教育にかかる費用」、「働きながら子育てができる職場環境であること」が続いています。



# 3. 結婚や子育て

## (2) 結婚を決心した(決心する)状況(あてはまるもの全て選択可)

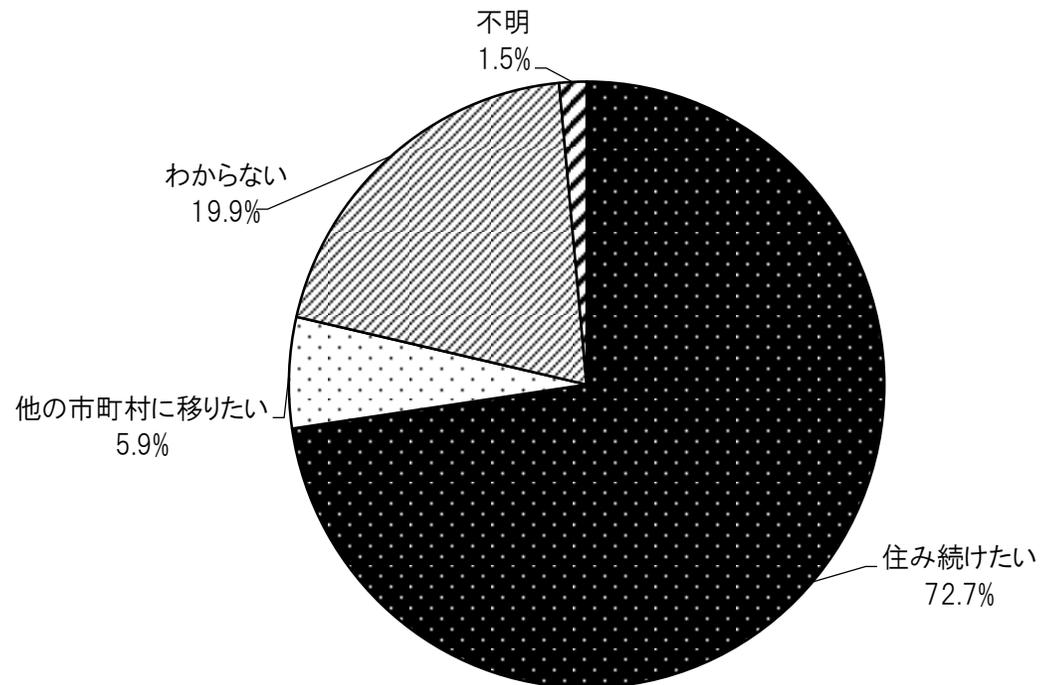
○「良い相手と出会う機会があること」が最も多く、次いで「経済的に安定すること」が続いています。



# 4. 暮らしや魅力

## (1) 福島市に住み続けたいか

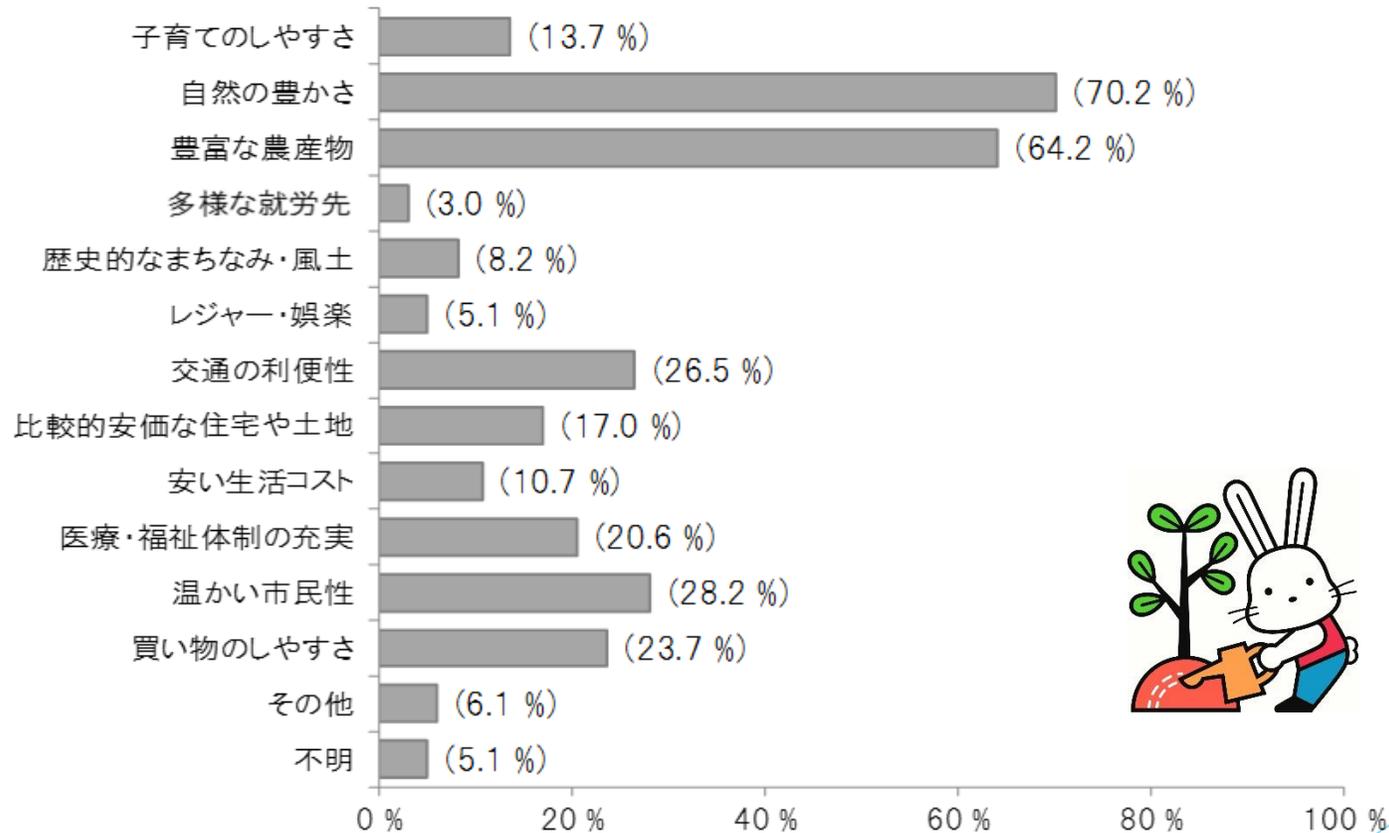
- 「住み続けたい」が最も多く、次いで「わからない」、「他の市町村に移りたい」が続いています。また、「他の市町村に移りたい」理由として、「より活気があるところへ」や「より福祉施策が充実しているところへ」などがありました。



# 4. 暮らしや魅力

## (2) 福島市に暮らす魅力 (あてはまるもの5つまで選択可)

- 「自然の豊かさ」が最も多く、次いで「豊富な農産物」、「温かい市民性」、「交通の利便性」が続いています。また、その他として、「災害が少ない」などの意見がありました。

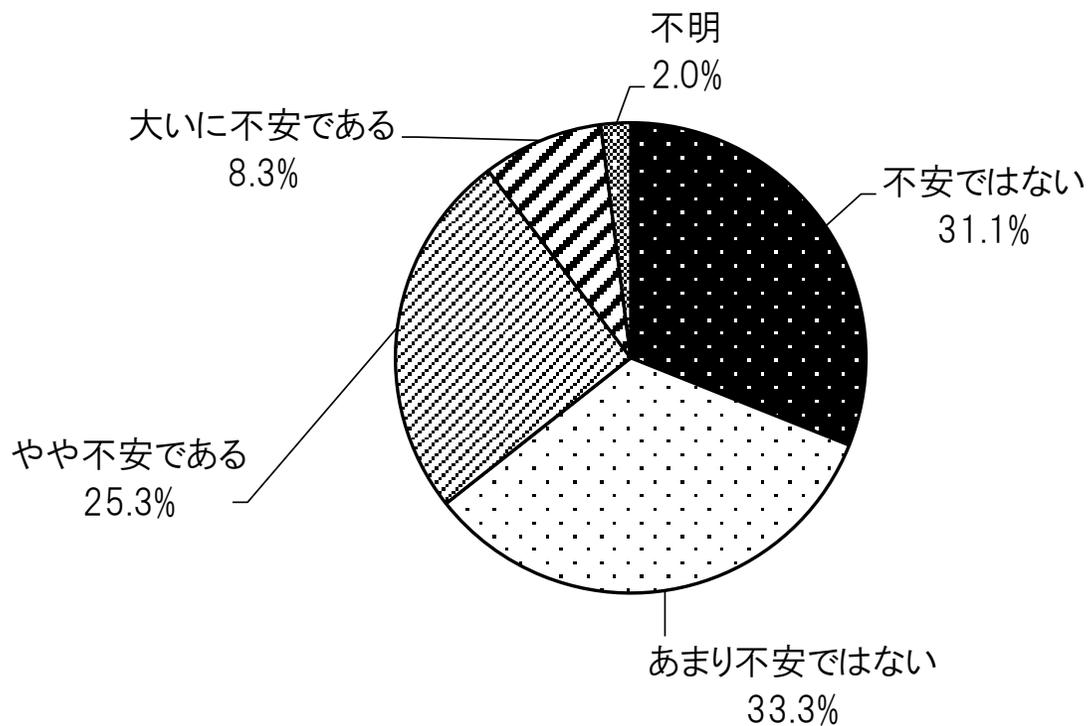


# 5. まちづくり

## ～東日本大震災からの復興や放射線に関する意識～

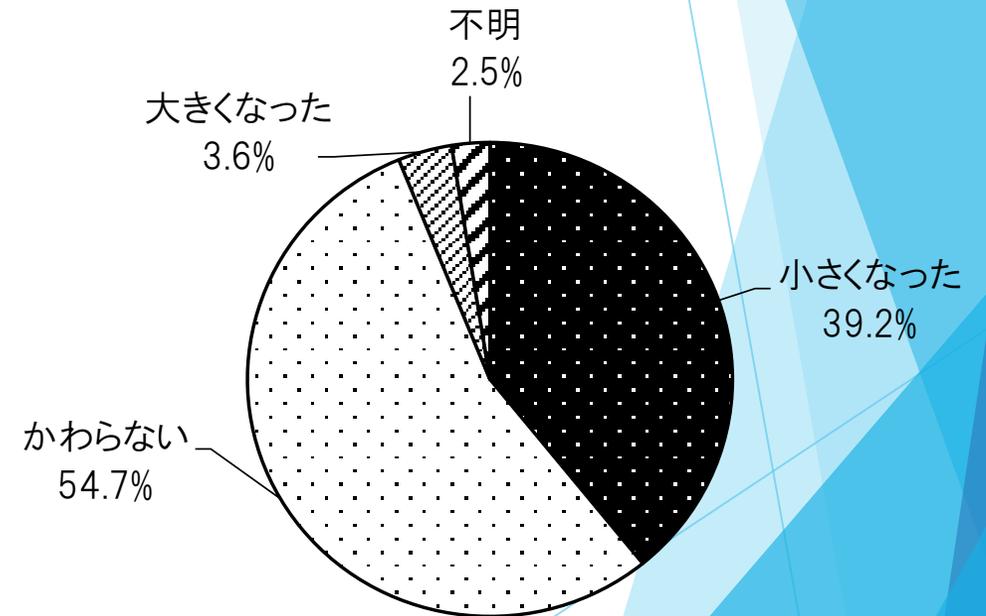
### (1) 放射線による健康不安

- 「あまり不安ではない」が最も多く、次いで「不安ではない」、「やや不安である」が続いています。



### (2) 放射線による健康不安の変化

- 「かわらない」が最も多く、次いで「小さくなった」が続いています。

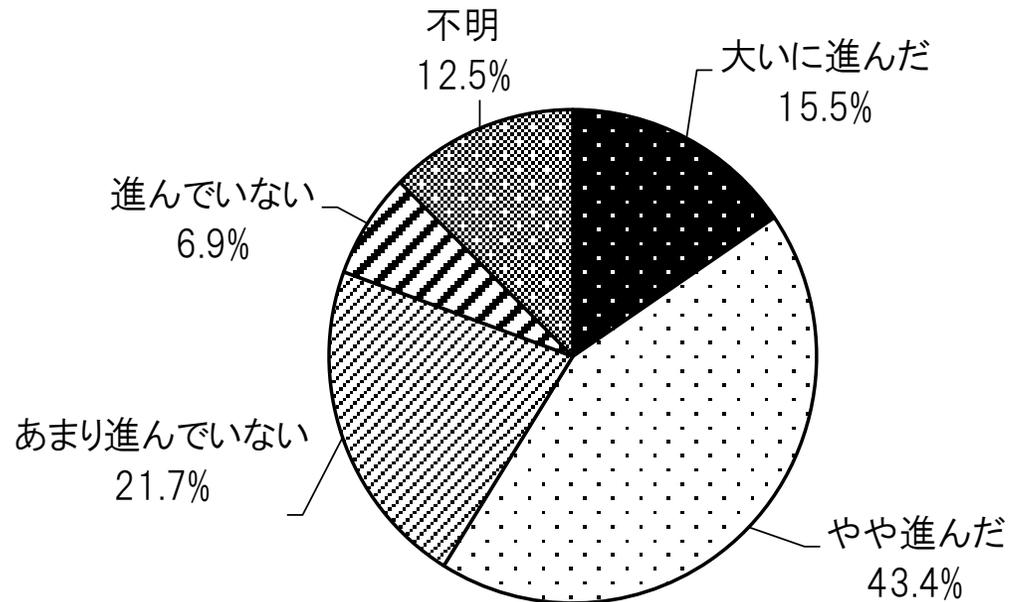


# 5. まちづくり

## ～東日本大震災からの復興や放射線に関する意識～

### (3) 復興の状況

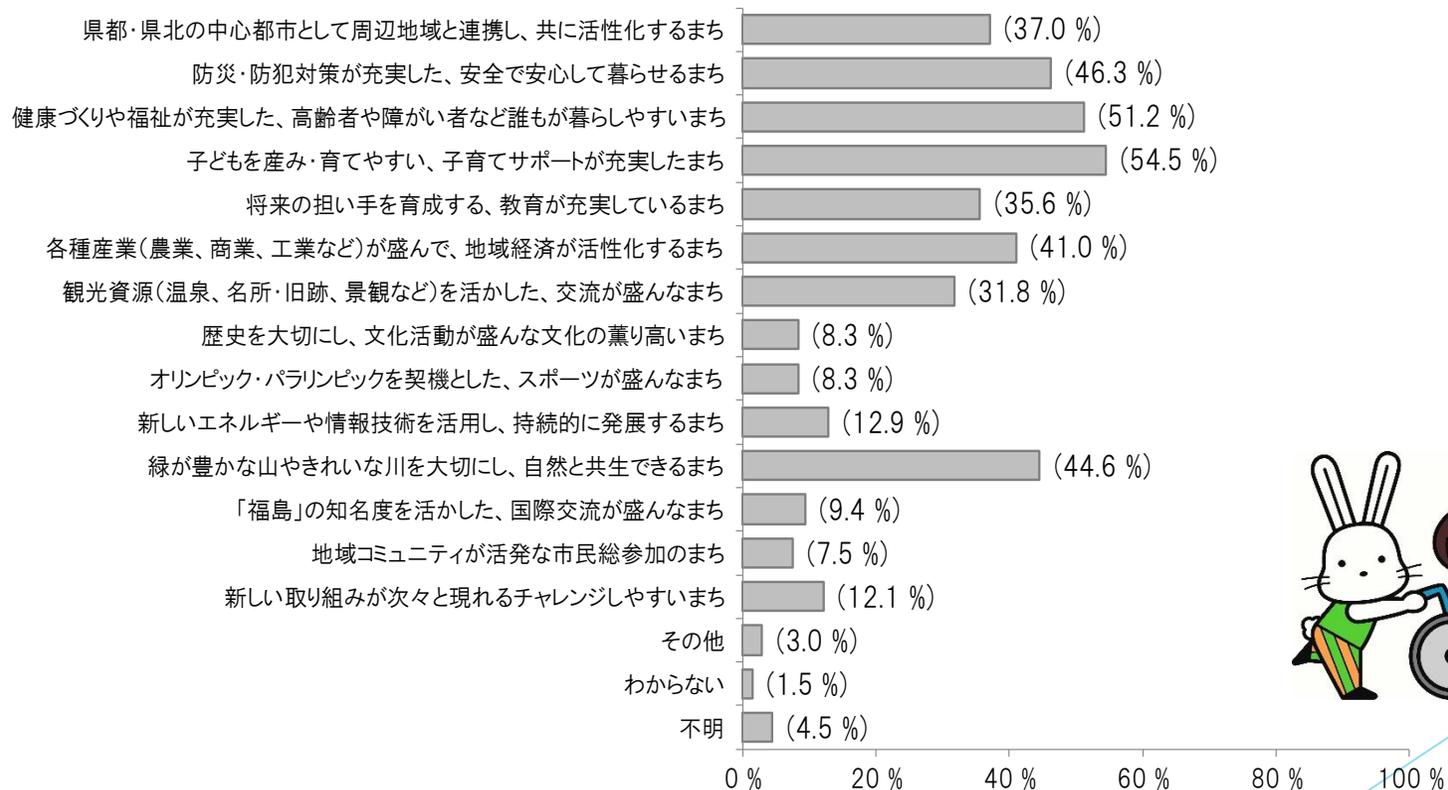
- 「やや進んだ」が最も多く、次いで「あまり進んでいない」、「大いに進んだ」が続いています。
- また、「大いに進んだ」、「やや進んだ」理由として、「除染による放射線量の低下」や「震災前の生活に戻っている」などがあり、「あまり進んでいない」、「進んでない」理由としては、「除染土の搬出が進んでいない」などがありました。



# 5. まちづくり ~これからの「まちづくり」~

## (1) 将来の目指すまち (あてはまるもの5つまで選択可)

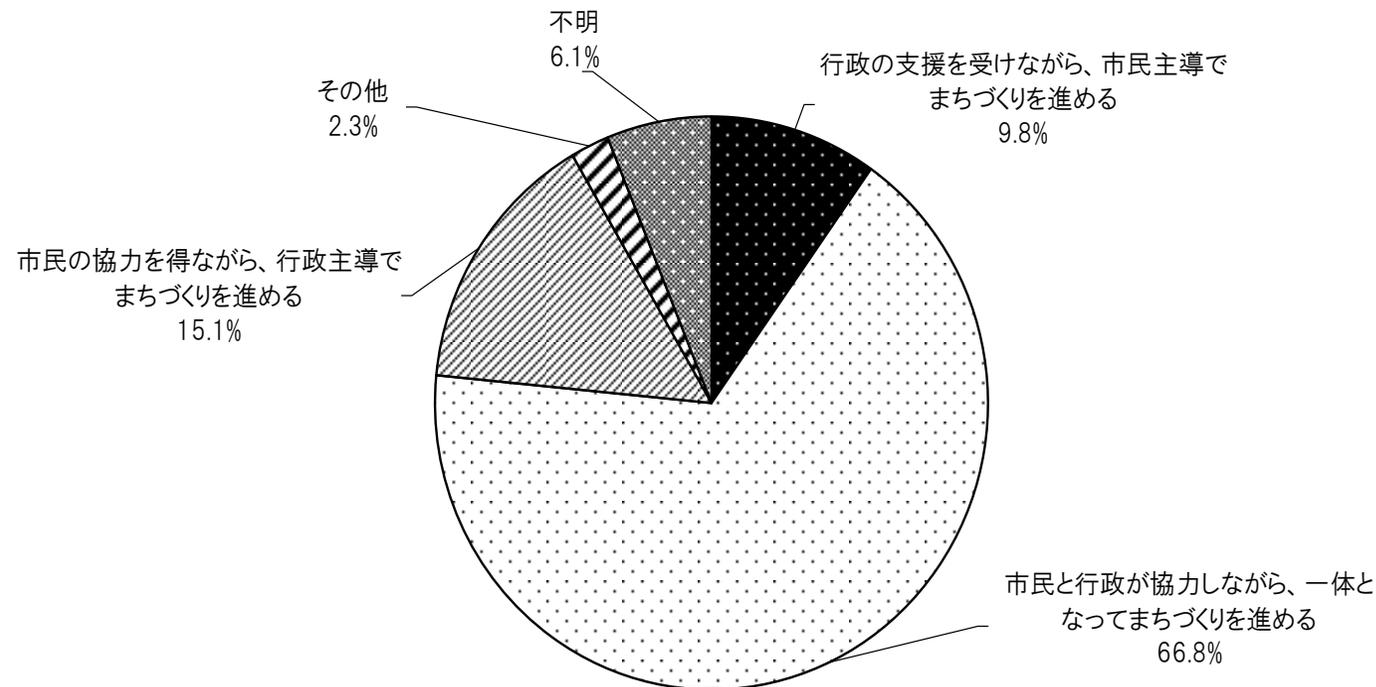
- 「子どもを産み・育てやすい、子育てサポートが充実したまち」が最も多く、次いで「健康づくりや福祉が充実した、高齢者や障がい者など誰もが暮らしやすいまち」、「防災・防犯対策が充実した、安全で安心して暮らせるまち」が続いています。
- また、その他として「若者が住みたい・働きたいと思うまち」や「福島駅前の活性化」などの意見がありました。



# 5. まちづくり ～これからの「まちづくり」～

## (2) 市民と行政の関係

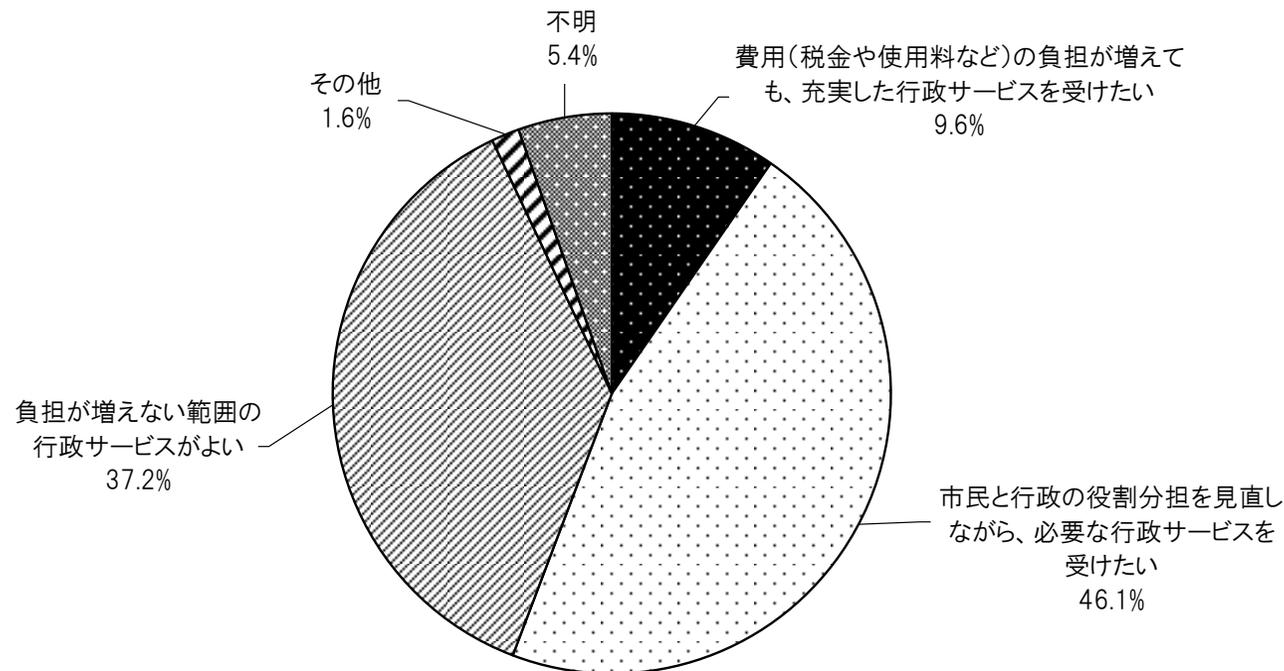
- 「市民と行政が協力しながら、一体となってまちづくりを進める」が最も多く、次いで「市民の協力を得ながら、行政主導でまちづくりを進める」が続いています。



# 5. まちづくり ～これからの「まちづくり」～

## (3) 行政サービスと負担の関係

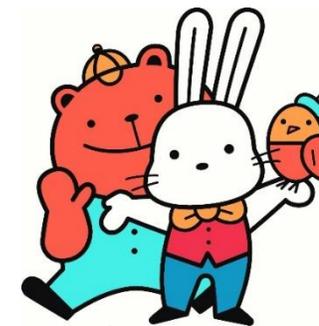
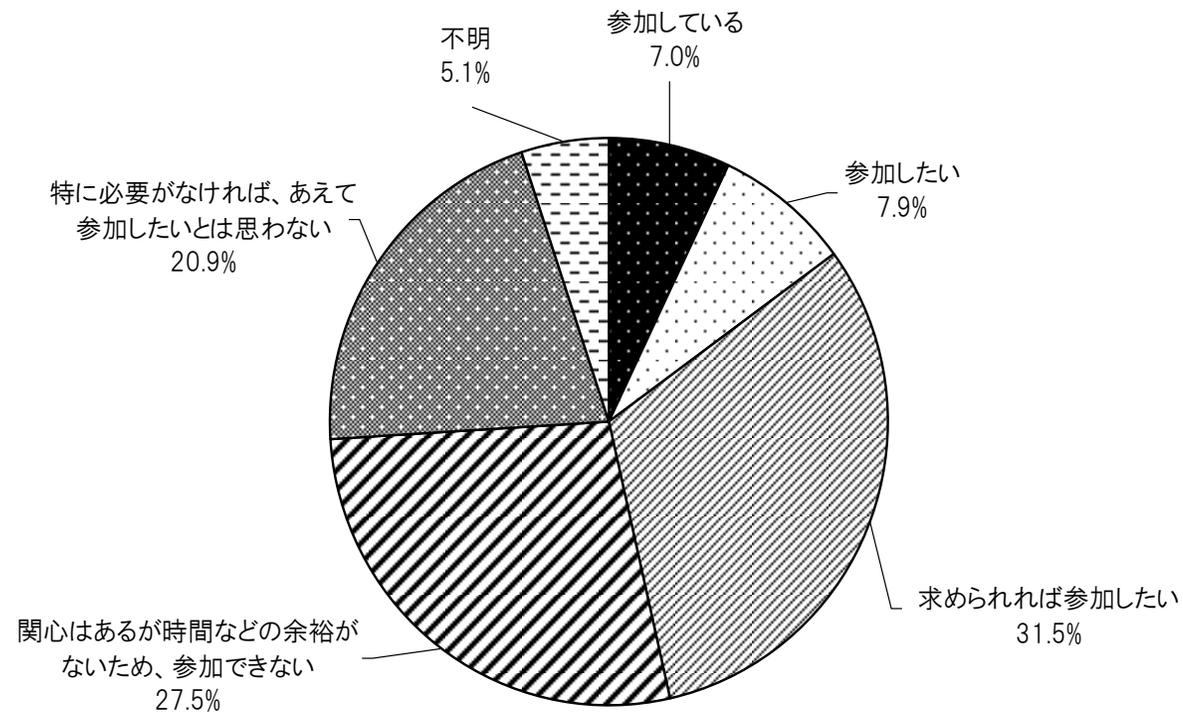
- 「市民と行政の役割分担を見直しながら、必要な行政サービスを受けたい」が最も多く、次いで「負担が増えない範囲の行政サービスがよい」、「費用（税金や使用料など）の負担が増えても、充実した行政サービスを受けたい」が続いています。
- また、その他として、「NPOや企業、団体などの協力も必要」などの意見がありました。



# 5. まちづくり ～これからの「まちづくり」～

## (4) まちづくりへの参加

- 「求められれば参加したい」が最も多く、次いで「関心はあるが時間などの余裕がないため、参加できない」、「特に必要がなければ、あえて参加したいとは思わない」が続いています。
- 73.9%の方については、時間的な制約はあるものの、まちづくりに参加したい、関心があるという考えであることが分かりました。



新しい福島市総合計画の策定に向けた市民アンケート結果のあらまし  
～市民が望むまちの姿へ～

平成30年12月  
福島市 政策調整部 政策調整課

